

# パフォーミング・アーツ学科／メディア・アーツ学科 ビジュアル・アーツ学科

## カリキュラムの特徴

### ■必修科目と必修選択科目 特定の学習領域に進むための基礎と指針

単位  
のしくみ  
p. 9

パフォーミング・アーツ学科、メディア・アーツ学科、ビジュアル・アーツ学科の専門科目群には必修科目と必修選択科目があります。これらの必修科目と必修選択科目は、玉川大学芸術学部の学生として、みなさんの人間形成や将来のキャリアアップを考えた場合、最低限の基礎科目として学ぶ必要があると考えられるものです（詳しくは、各学科の「教育課程表」を参照してください）。

必修科目と必修選択科目を確実に学んでおくことは、芸術や芸術活動に関する視野を広げるばかりではなく、専門科目（導入科目・発展科目・専攻科目）を選択する指針を得ることにもなります。さらに芸術の何を自分の柱にして勉強し、卒業していくかを定める手掛かりを与えてくれます。

## 卒業要件

ユニバーシティ・スタンダード科目  
p. 39～42

GPA計算例  
p. 20

芸術学部を卒業するためには、パフォーミング・アーツ学科、メディア・アーツ学科、ビジュアル・アーツ学科ともに、以下のすべての要件をクリアしなければなりません。

### 7単位以上

- ① ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含む8単位以上を修得していること
- ② ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各4単位以上、学際科目群から2単位以上、言語表現科目群から4単位以上を含み、合計18単位以上を修得していること  
\*なお、ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、教職関連科目群の修得単位数については、卒業要件の「124単位」にカウントする。
- ③ 導入科目群から16単位、発展科目群から16単位、専門科目群から6単位（それぞれ必修・必修選択科目を含む）の合計38単位以上を修得していること
- ④ 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
- ⑤ 各学科で定める必修および必修選択科目の単位をすべて修得していること（詳細は各学科の教育課程表を参照のこと）
- ⑥ 上記要件をすべて満たし、合計124単位以上を修得していること

## 1 卒業要件単位数 —— 合計124単位以上

卒業要件の124単位には必ず以下が含まれていなければなりません。

科目群		必要単位 (GPA)	履修条件、および備考
ユニバーシティ・スタンダード科目群	玉川教育・FYE科目群	7単位 8単位	全科目必修
	人文科学科目群 社会科学科目群 自然科学科目群 学際科目群 言語表現科目群	18～32単位	人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各4単位以上、学際科目群から2単位以上、言語表現科目群から4単位以上を含み、合計18単位以上を修得すること。なお、4科目群の合計修得単位数が32単位を越えた場合、その越えた分については卒業要件には含まれない。
	導入科目群	16単位以上	導入科目群から16単位、発展科目群から16単位、専門科目群から6単位（いずれも各学科で定める必修・必修選択科目を含む）の合計38単位以上を修得していること。詳細は各学科で異なるため、次ページ以降にある「各セメスターの履修条件」および学科別の「履修上の留意事項」を参照のこと。
	発展科目群	16単位以上	
専攻科目群	6単位以上		

\*なお、ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、教職関連科目群の修得単位数については、卒業要件の「124単位」にカウントする。

## 2 卒業要件に関するその他の注意事項

9セメスター以上の在籍（卒業延期）となった場合でも、p.127に掲げられた卒業要件をすべて満たすまで、卒業はできません。

## 履修条件と学習継続条件

履修にあたっては、以下に示すように、各セメスターの履修条件を満たさなければなりません。セメスターごとに履修条件が設定されているのは、節目ごとに学習状況をチェックするためです。芸術学部では各セメスターの履修条件が満たせなかった学生に対して、「警告」のほか「注意」を行っています。

### 1 履修アドバイスの内容



指導の種類	担当教員	内 容
注意	担任 教務担当	各セメスターで累積修得単位数がセメスター規定を下回った場合、もしくは累積GPAが2.20を下回った場合に「注意」を行う。
警告	教務担当 教務主任 学科主任	学習継続条件のページ (p.24) を参照

\* 「注意」「警告」指導においては、とくに以下のアカデミック・アドバイスをを行います。

- ①履修相談全般（履修方法、履修モデル、科目について）
- ②履修状況の確認・注意（セメスター修得単位数、累積単位数、累積GPA数値等）

\* そのほかのアカデミックアドバイスについては学生の希望や必要に応じて随時行います。

2 各セメスターの履修条件

	履修条件		「注意」 の対象者 以下(1)又は(2)の場合				
	各セメスター の履修上限 単位数	以下の科目は設定されたセメスターで 単位を修得することが望ましい	(1)セメスター終了 時の累積単位数 が、下記の単位 数以下の学生	(2)累積 GPA が 下記の値未満 の学生			
第1 セメスター	20 16	<b>全学科</b> ユニバーシティ・スタンダード科目 玉川教育・ FYE科目群(必修)4単位 → <b>3.7単位</b>	14	2.20			
		<b>パフォーマンス・アーツ学科【導入科目】</b> ①必修科目「パフォーマンス・アーツ概論」2単位 ②必修選択科目「音楽論*」「演劇史」「演劇論*」より2単位					
		<b>メディア・アーツ学科【導入科目】</b> 必修科目「メディア・アーツ概論」2単位					
		<b>ビジュアル・アーツ学科【導入科目】</b> ①必修科目「ビジュアル・アーツ概論」2単位 ②必修科目「平面造形基礎」または「立体・空間造形基礎」2単位 ③必修科目「美術史*」および「美術論*」4単位					
第2 セメスター		<b>全学科</b> ユニバーシティ・スタンダード科目 玉川教育・ FYE科目群(必修)4単位 → <b>3.3単位</b>			30		
		<b>パフォーマンス・アーツ学科【導入科目】</b> 必修選択科目「音楽史*」「演劇論*」より2単位					
		<b>ビジュアル・アーツ学科【導入科目】</b> ①必修科目「平面造形基礎」または「立体・空間造形基礎」2単位 ②必修科目「美術史*」2単位					
第3 セメスター		<b>メディア・アーツ学科【発展科目】</b> 必修科目「情報倫理とセキュリティ」2単位(第3セメスター)				46	
第4 セメスター		62					
第5 セメスター	<b>メディア・アーツ学科</b> 必修科目「メディア・アーツ研究」2単位		78				
第6 セメスター				94			
第7 セメスター							110
第8 セメスター					当該セメスターでの 卒業が不可能な学生		
卒業延期者の セメスター規定							

\*芸術学部生は、芸術学部指定以外の以下6科目を履修することはできません。「音楽史」「音楽論」「演劇史」「演劇論」「美術史」「美術論」

## 履修上の留意事項 —— 芸術学部専門科目の履修について

## 1 学部共通演習科目

- (1) ローマ数字（Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ…）のついている科目は、数字の若い順に履修します。数字の途中からは履修できません。「卒業プロジェクト」は「芸術専門研究Ⅰ」または「芸術専門研究Ⅱ」と同時に履修します。
- (2) 「芸術演習A・B」「芸術専門研究Ⅰ・Ⅱ」「卒業プロジェクト」については、事前にガイダンスが行われます。ガイダンスに出席しないと履修できない場合があります。これら以外の科目もガイダンスが行われる場合がありますので、Web（UNITAMA/Blackboard @Tamagawa）および校舎の掲示に注意してください。
- (3) 下記以外の先行履修条件については、次頁以下の音楽・演劇・舞踊・美術の各実技科目履修の流れを参照のこと。

## 2 研究論文を執筆する場合の先行履修条件（卒業プロジェクトを実技系で行わない場合）

- (1) 「芸術専門研究Ⅰ」を履修するためには、「芸術演習A」または「芸術演習B」を履修済みであること。
- (2) 「卒業プロジェクト」を履修するためには、「芸術専門研究Ⅰ」または「芸術専門研究Ⅱ」を同時に履修すること。  
(次の表のように履修していきます)

開講Semester	先行履修科目名
第5 Semester 第6 Semester	芸術演習 A または 芸術演習 B
第7 Semester	芸術専門研究Ⅰ 卒業プロジェクト
第8 Semester	芸術専門研究Ⅱ 卒業プロジェクト

### 3 企画経営系科目の履修条件

- (1) 企画経営領域の「芸術専門研究Ⅰ」を履修するためには、「芸術経営論」、「マーケティング研究」、「アートマネジメントⅠ・Ⅱ」、「芸術演習A」または「芸術演習B」を履修済みであること。
- (2) 「卒業プロジェクト」を履修するためには、「芸術専門研究Ⅰ」または「芸術専門研究Ⅱ」を同時に履修すること。
- (3) 「アートマネジメントⅠ」を履修するためには、「公共文化事業研究」を履修済みであること。
- (4) 「公共文化事業研究」を履修するためには、「文化政策論」を履修済みであること（次の表のように履修していきます）。

開講セメスター	先行履修科目名		
第3セメスター	文化政策論	マーケティング研究 (5セメでも可)	芸術経営論
第4セメスター	公共文化事業研究		
第5セメスター	アートマネジメントⅠ	芸術演習A または 芸術演習B	
第6セメスター	アートマネジメントⅡ		
第7セメスター	芸術専門研究Ⅰ 卒業プロジェクト		
第8セメスター	芸術専門研究Ⅱ 卒業プロジェクト		

# パフォーマンス・アーツ学科

## 履修上の留意事項と学習の流れ（主な科目）

### ■音楽系実技科目の先行履修

	専門実技科目	副科実技科目	アンサンブル科目
第1セメスター	作曲基礎Ⅰ 音楽基礎Ⅰ 鍵盤楽器基礎Ⅰ 弦楽器基礎Ⅰ 管・打楽器基礎Ⅰ *資格認定可	音楽実技入門A (音楽) 音楽実技入門A (鍵盤楽器) 音楽実技入門A (作曲・管・弦・打)	音楽実技入門AまたはBいずれかの取得で音楽実技入門Ⅰの履修が可能
第2セメスター	作曲基礎Ⅱ 音楽基礎Ⅱ 鍵盤楽器基礎Ⅱ 弦楽器基礎Ⅱ 管・打楽器基礎Ⅱ *資格認定可	音楽実技入門B (音楽) 音楽実技入門B (鍵盤楽器) 音楽実技入門B (作曲・管・弦・打)	パフォーマンス入門A または パフォーマンス入門B
第3セメスター	作曲Ⅰ 音楽Ⅰ 鍵盤楽器Ⅰ 弦楽器Ⅰ 管・打楽器Ⅰ *資格認定可	音楽実技入門Ⅰ (音楽) 音楽実技入門Ⅰ (鍵盤楽器) 音楽実技入門Ⅰ (作曲・管・弦・打)	*資格認定可
第4セメスター	作曲Ⅱ 音楽Ⅱ 鍵盤楽器Ⅱ 弦楽器Ⅱ 管・打楽器Ⅱ *資格認定可	音楽実技入門Ⅱ (音楽) 音楽実技入門Ⅱ (鍵盤楽器) 音楽実技入門Ⅱ (作曲・管・弦・打)	*資格認定可
第5セメスター	作曲Ⅲ 音楽Ⅲ 鍵盤楽器Ⅲ 弦楽器Ⅲ 管・打楽器Ⅲ *資格認定可	音楽基礎Ⅰ 鍵盤楽器基礎Ⅰ 作曲基礎Ⅰ 弦楽器基礎Ⅰ 管・打楽器基礎Ⅰ *資格認定可	パフォーマンスA または パフォーマンスB
第6セメスター	作曲Ⅳ 音楽Ⅳ 鍵盤楽器Ⅳ 弦楽器Ⅳ 管・打楽器Ⅳ *資格認定可	音楽基礎Ⅱ 鍵盤楽器基礎Ⅱ 作曲基礎Ⅱ 弦楽器基礎Ⅱ 管・打楽器基礎Ⅱ *資格認定可	パフォーマンスC
第7セメ スター	芸術専門研究Ⅰ *資格認定可		パフォーマンス 上級 A
第8セメ スター	芸術専門研究Ⅱ 卒業プロジェクト *資格認定可		パフォーマンス 上級 B

- ★専門実技科目の履修は事前にレベルチェックを行います。
- ★専門実技科目のレッスンはすべて30分程度の個人レッスンですが、第3セメスター以降、特に優秀な学生には50分のレッスンを行います。
- ★副科実技科目のレッスンは原則として100分のグループレッスンで行います。ただし、第5セメスター以降も継続してレッスンを受講する場合は専門実技科目第1セメスターの科目を履修し、個人レッスンで行います。その場合のレッスンは1人20分で行います。第5セメスター以降の履修は芸術学部生のみの可能です。
- ★アンサンブル科目の履修にあたっては事前にレベルチェックを行います。アンサンブル形態についてはセメスター毎に発表されます。パフォーマンスの授業はすべてのセメスターに発表会を行い、出演することが単位修得の条件になります。
- ★専門実技科目・副科実技科目はすべて実技試験が課せられます。
- ★専門実技科目・副科実技科目・アンサンブル科目すべての科目に事前ガイダンスが行われます。履修を希望する学生は必ず事前ガイダンスに参加すること。履修の詳細はガイダンス時に説明します。
- ★実技試験を受けるにあたり「曲目提出」や「曲目レポート提出」が義務づけられています。これらの提出をルールを守って期限内に提出すること。提出の遅れは試験を受験できません。

■演劇・舞踊系実技科目の先行履修

	舞台創作・創造	舞台技術			演技・舞踊			
第1 Semester		劇場入門 戯曲入門			演技基礎A または 演技基礎B	ダンス基礎A または ダンス基礎B	バレエ基礎A または バレエ基礎B	日本舞踊基礎A または 日本舞踊基礎B
第2 Semester	パフォーマンス入門A または パフォーマンス入門B	劇場入門 戯曲入門						
第3 Semester		※劇場技術A		※戯曲研究	演技I	ダンスI	☆バレエI	日本舞踊I 伝統芸能I
第4 Semester	パフォーマンスA	※劇場技術B	※メイクアップ	※音響効果	演技II	ダンスII	☆バレエII	日本舞踊II 伝統芸能II
第5 Semester	または パフォーマンスB または パフォーマンスC	※舞台衣裳	※舞台装置		※児童青少年演劇I 演技III	ダンスIII	☆バレエIII	日本舞踊III 伝統芸能III
第6 Semester		※舞台監督	※舞台照明	※演出	児童青少年演劇II 演技IV	ダンスIV	☆バレエIV	日本舞踊IV 伝統芸能IV
第7 Semester	パフォーマンス上級A	芸術専門研究I						
第8 Semester	パフォーマンス上級B	芸術専門研究II 卒業プロジェクト						

- \* ☆マークのバレエに関して、レベル（経験・技量）が認定された場合、先行履修科目を飛び越して履修可能となる場合があります。
- \* 第8 Semesterで「卒業プロジェクト」を履修する場合は「芸術専門研究II」を同時に履修しなければなりません。
- \* ※印の科目は、次頁の教育課程表プリ・リクイジット欄を参照のこと。